

平成28年度 第3回野洲市学童保育所運営協議会 会議録

I 日 時 平成29年3月10日(金) 19:00~20:00

II 場 所 北部合同庁舎2階 会議室1

III 出席者 〈運営委員〉

門川 由加里、今富 沙矢香、福澤 香織、木村 希恵

南井 綾子、山本 千砂都(以上保護者会会長)

入江 幸一(市民生委員児童委員協議会代表)、川端 建一(市自治連合会代表)

高島 謙治(小中学校教頭会代表)、辻村 博子(市健康福祉部政策監)

井狩 重則(社協事務局長)

上田 真弓、渋谷 敬子、梶谷 明美、杉本 邦子

北脇 幸、太田 千鶴(以上学童保育所所長)

〈事務局〉

水谷 威彦(社協事務局次長)、益田 研(福祉企画課課長補佐)

中村 江利子(学童保育担当)

〈健康福祉部〉

三上 忠宏(こども課課長)、井狩 昭彦(こども課課長補佐)

角田 晴美(こども課担当)

【内容】

1 開会

2 運営協議会会長あいさつ

3 報告事項

- (1) 平成29年度 野洲市こどもの家(学童保育所)入所申込み状況について
(事務局より)

参考資料①

◎ 平成29年度 野洲市こどもの家入所申込状況(受付結果)

申込の結果としては、通年児童「685名」季節児童「279名」の合計で「964名」の申込みをいただいた。今年度4月1日比で「30」名の増加となった。

申込み増加の原因としては、新1年生の人数が200人を超える人数をいただいている。また、2年生3年生の低学年を中心に毎年の継続率がほぼ100%をいただいているということで、年々増えていると思っている。この結果については、継続した保育をするにあたって非常に良い結果と思っている。学区別に今年度は北野・篠原・中主の学童保育所で10名以上増えている。

参考資料②

◎ 野洲市学童保育所 児童数の推移

平成25年度に全ての学童保育所の施設整備が整ってからの数字である。

平成25年度の在籍数が、「736名」全児童に対して、24.3%の利用。

平成26年度は「800名」。平成27年度は「843名」。そして今年度も

「933名」の利用をいただきまして、利用率も30%を超える形となった。

来年度も「964名」の申込みをいただいているので、31.7%となっているので申込み者数、利用率とともに増加しているのを確認していただける結果になった。

加えて、平成29年度の運営について補足をします。

まず、野洲小学校区では、閉所していた「野洲第7学童保育所」を年間通じて新たに開所する。平成28年度も利用者の増加により、夏季期間のみ開所して対応していたが、申込み状況を勘案して、平成29年度は通期で開所する。開所することにより、野洲小学校区においては適正規模の安定した保育ができると考える。施設については、現在改修工事等おこなっており、来年度に向けての準備をしているところである。

次に児童数が増えている篠原小学校においては、新1年生がたくさん申込みをいただいたということで、施設定員60名に対して67名と、定員以上の申込みをいただいている。小学校における在籍率も41.9%ということで市内においては1番高く、1・2年生においては50%を超え、2人に1人が来ていただいている状況。

期間ごとの児童数を勘案した中で、利用児童数が最も多い時期である夏季期間においての現在の施設に加えて、篠原小学校の一部教室をお借りして分割保育を実施する予定。こどもたちの生活環境を整え、適正規模の運営に努める。

このことについては篠原学童利用の保護者さまにはおたよりを配布して、『一部分割保育で実施する予定』とお知らせしている。

質問)・ 野洲第7学童保育所はどのような形で改修工事をしていただいているのか。

また、進捗状況は。また保護者の方からも中を見てみたい、見学をしてみたいとの声もあるので、いつ頃までに見学をさせていただけるのか教えてください。

回答)・ 改修工事についてですが、建屋の方はしっかりとしていますので、壁を綺麗に塗り直しをおこない、設備関係ですがエアコン、トイレを改修させていただいて快適に過ごしていただけるように進めさせていただいている。

工事の方は概ね完了している。

ただ、タイルカーペットを貼らせていただいて、環境測定を来週の金曜日にさせていただき予定をしており、3月27日に検査をさせていただき予定になっている。

残りわずかだが、3月28日～4月2日の間に備品を運んでもらって、併せて見学していただけるようにする。

質問)・ 3月10日現在の人数と4月1日の人数は変わらないですか。

回答)・ 今後、申込みという形ではないと思いますが、昨年の10月などで提出していただいているので、状況が変わって辞退される方が出てくるかも知れませんが、大きくは変わらないと思う。

質問)・ 夏に教室を借りてということですが、2点ほど聞かせていただきたいのですが、2箇所に分かれるということは、指導員は増やされるのか、という点と、教室を借りる場合、学童保育所ですと靴を脱いでお昼寝とか、学年をまたいでいろいろな児童と交流を図れたと思うのですが、教室のお部屋を借りた部屋の環境と、兄弟は同じ部屋にするのか、高学年と低学年に分かれるとか、具体的な部屋割りはどのようにお考えですか。

回答)・ 小学校の空き教室を借りるということで、図書室と理科準備室をお借りして定員増に対応しようと考えている。担当課を含めて小学校とも打ち合わせさせていただいた。

まず環境ですが、それぞれ必要な備品は、予算を踏まえて差異がないようにしていきたい。

職員に関しては、当然分割になるので期間雇用の職員も含めて、運営状況に合せ

て対応していきたい。当然現職員が分かれて対応します。

春休みからたくさんの児童が来るので、この状況も踏まえて具体的に検討して、どの児童が教室を利用するのか、また何人で、どういった時間帯で、どの職員を配置するかなど、現場の所長とも相談させていただいて、決めさせていただこうと思っている。 実際利用する1ヵ月前には、文書や口頭でお知らせします。

あと、保育時間ですが、全く別々ではなく文書でもお知らせしましたように登所、降所、送っていただく場所、迎えに来ていただく場所は現在の学童保育所を中心にさせていただき、登所の後、日中の時間帯で分かれて保育を実施する予定ですので、ご兄弟で分かれてもお迎えは一緒の場所と考えています。

重ねて説明とさせていただきます。

質問)・ 篠原の1年生が増えた特殊な事情があるのか。1年生大体21人ぐらいでほとんど学童保育所に行く感じ。もともと60人の定員。分割するとしても、これからこの状況が続くのならば、来年からどうするのか。どこまで受け入れるのか心配。

回答)・ 来年度の篠原小学校に行かれる1年生の総数は37人と聞いている。今年度より10名近く新1年生自体の申込みが増えると考え。37名のうちの21名ということで半分以上が来ていただくことになる。実際現場も危惧をしている。

夏季の利用が多い時期は分割するとしても、低学年の継続率は高く、来年の申込みは全く分からない状況。定員を超える受け入れをさせていただいている。

一斉申込みをさせていただいているが、毎年夏前に市内全体で50名から60名の事後の申込みがある。篠原学童保育所だけないことはないと思うので、受入については、一定の線を引いて対応しなければならない時期が来ると思われます。

篠原学童保育所は単一施設なので、担当課と話し合っって線引きを考えなければならない。例えば在籍児童数によっては、入所する時期を変えるなどしなければならないと考えている。

(2) 利用者アンケート調査結果(土曜保育)について

(事務局より)

参考資料③

◎ 野洲市こどもの家(学童保育所)利用者アンケートV o 1. 2 調査結果(最終)

土曜日保育に関するアンケートは、前回の運営協議会でも中間という形で報告させていただきましたが、今回12月の申込みも終わり最終結果ということで改めて報告させていただきます。

アンケートの実施の結果で総回答数は699件だった。ほぼ100%の方に回答いただいた。

設問に関するアンケートで主なもので、最初に利用希望者数として324件、率にして、46.4%の利用希望がありました。

利用希望の小学校区別内訳として、祇王小学校と北野小学校区については半数を超える方が希望を出されている。

土曜日保育の利用時間に関しては、8時半から6時、通常の保育時間での利用が59.9%。延長を利用したい人は41.1%。6対4の割合になっている。

土曜日保育を利用料については、通年の1万円を時間単価に出して、参考の金額として4,400円を提示させていただいている。

回答結果としては、1,000円未満の方が28.7%。1,000円以上3,000円未満が37%。3,000円以上が27.5%の回答結果。

土曜日保育の利用頻度として、1.2回/月程度ご利用される方が、76.4%の結果になっている。このことから、毎週ではなく月に数回ということがわかるので、今後参考にしたい数字と考えています。

最後に開所の状況として、小学校区を超えて合同で開所する場合があるという設問に関しては、一番多い回答といたしましては市内で1.2箇所 小学校区を超えて利用するとの回答が1番多く、144件の44.4%となっている。

運営上のことも考えこういった設問もさせていただいたのですが、個別のご意見もいただいた中で、「普段とは違う友達と交流も図れる」といった前向きのご意見があり、合同保育については一定ご理解をいただいた結果だと思われる。

質問)・ このような結果を受けて、今後どのような対応をお考えですか。

回答)・ 前回アンケートをさせていただいて、土曜日保育のニーズが高かったということで、改めて今回2回目のアンケートをさせていただいた。ご指摘いただいた通り4割の方が利用したいとご希望されているということ。また野洲市以外の市町でほとんどの所がされているという状況もあり、前向きに検討したいと考えているところである。このアンケート結果を踏まえて、来年度4月から7月ぐらいを目途に「野洲市こどもの家持続ある運営を考える委員会」を再度立ち上げて、運営面と保育・サービスの拡充、つまり経営面のバランスを考え、開所の仕方、料金の設定の仕方を議論していただいて、一定の提言をちょうだいして実際にどのような形でさせていただくか考えていきたい。「運営を考える委員会」で提言をいただいて、運営主体である社協、保護者のみなさまのご意見をいただいて決めていきたいと考えている。

最も早く土曜日保育をすすめていくとするならば、平成30年の4月というところが最も早くなる。

質問)・ 土曜日保育の希望が50%を超えているということで、実は先週北野小学校のグラウンドで大きな大会がありまして、土曜日にも日曜日にも前面を使ってされていた。サッカークラブの保護者とも話をしたが、もし北野学童で土曜日保育をするなら、毎週土曜日にグラウンドは使っておられて、体育館も午前・午後利用されている。今のところ学童保育所は学校施設解放に登録して、平日や夏休みなどの長期休業中も使わせていただいている。熱中症の心配もなく、体育館で遊ばせていただいている。土曜日に北野学童を開所するなら、他の団体との調整はどのようにお考えなのか。

回答)・ 他の団体と同じく、学校のグラウンド等使用する場合は登録させていただいている。月曜日から金曜日を貸していただき、現在は上手く住み分けが出来ている。

ただ、今後土曜日を開所するにあたり、朝から保育を開始するので、小学校のグラウンドや体育館を一定限使わせていただかないと保育を行う上で難しいと思う。

開所に向けての話し合いで、こういった部分も必要だと提案させていただきたい。

あと、懸念しているのが合同保育をすると、保護者の方に普段とは違う学童保育所の送り迎えをしていただかないといけない。専用の駐車場を設けているところもあるが、違う施設をお借りしている所もあるので、体育館等の使用と共に、駐車場についても話し合いをして整理していきたいと思う。

(3) その他

事務局)・ 毎年お願いしているのですが、年度末3月31日は、特に野洲小学校区には新しい学童保育所も開所します。事前にお伝えしていますように、午後のご自宅保育にご協力をお願いいたします。改めて、保護者会等を通じてお願いいたします。

来年度に向けての準備時間は、この時間しか持たませんので、忙しい時期ですが、よろしく申し上げます。

また、各保護者会の方に、各所長からも聞いておりますが施設清掃、そして来年度に向けて備品の寄付等していただきありがとうございます。子どもたちの為に大切に使用させていただきます。この場を借りてお礼を申し上げます。

4 閉会